

## 編集後記

平成22年4月に人間科学部が創設されるに伴って、人間科学部設立準備委員会の要請で人間科学論集作成の骨子案（心理学科中沢仁准教授，社会学科柴田弘捷教授の素案）が教授会で検討され，この度「心理学篇」と「社会学篇」の2分冊の形で人間科学論集を刊行し，皆さまのお手元にお届けすることになりました。

人間科学論集は，初めての刊行であるため学務課と2つの学科（心理学科，社会学科）からの編集委員が協力して作成の基盤づくりから開始しました。社会学科の大矢根淳教授を論集委員長，心理学科乾を論集委員として，論集の枠組みである版型体裁，表紙および裏表紙デザイン，発行部数，発行先リスト作成，さらに各々の2分冊された論集心理学篇，論集社会学篇の作成手順，枠づけ，論文の字型・ポイント，作図作表に至るまで相互に確認し，人間科学論集としての論集のまとまりとまた各学科篇の編集主幹として各学科篇の特徴を生かした刊行となるように，細かな打ち合わせを重ねることになりました。それに加えて学務課（富樫満広氏）および専修大学出版局（川上文雄氏）と大矢根論集委員長との精力的な会合も本論集刊行の基礎作りに大いに貢献があったことを記しておきたいと思います。

そのような過程を経て，論集心理学篇の編集作業が開始されることになりました。心理学篇の刊行では，学科の編集委員として長田洋和准教授，澤幸祐准教授，岡田謙介専任講師

そして波田野由美実習助手の頼もしい方々が参画していただきました。主な役割分担としては，心理学科篇の全体企画構成そして全体的な編集を主幹の乾が担当し，長田先生には心理学研究室報担当，澤先生には論文と博士審査報告担当，岡田先生には乾の補佐および表紙および裏表紙の構成，英語表記チェック担当，波田野さんには論集の時間及び記録管理担当をお願いしました。論集心理学篇の誕生を見守る想いで，編集委員は多忙な仕事の合間を縫って，まさに一から企画構成・編集・原稿募集・作成そしてゲラ校正と15回の編集会議に専務していただきました。

もちろん，人間科学論集心理学篇の刊行に当って，本誌を構成した執筆者の皆様の多大なご協力があったことは言うまでもありません。記して感謝申し上げたいと思います。創刊の辞を賜った宇都学部長，下斗米心理学科長，創刊特別寄稿に稿を賜った金城先生，中谷先生，河内先生，森先生，岡部先生，伊藤さんの教職員の方々。卒業生のOB，OGの福留先輩，舩越先輩，金子先輩，山崎先輩，服部先輩，鈴木先輩，そして論文執筆を頂いた学科の諸先生と大学院生に感謝申し上げたいと思います。また，創刊するに当たり，ここにお名前を記しません心理学科の同僚の皆さまのご協力があったことも記しておきます。

最後になりましたが，人間科学論集心理学篇が今後ますます充実した心理学の研究・教育とともに広く社会的実践活動に寄与する紀要となることを願って筆を擱きます。（乾吉佑）